

シエラトン・グランデが首位

子連れで楽しいホテルは「ここ」!

今回、子連れに人気のホテルランキングを作成した。東京ディズニーリゾート周辺や沖縄の他、意外な顔触れが上位となった。

東日本大震災の影響により、昨年の家族旅行は大きく減少したが、今夏は一転して急回復している。

楽天トラベルによれば、「今夏の予約状況は前年比36・9%増。特に子連れ旅行が好調で、前年比で約1・5倍に増加した」(宇田川敦史・メディアアママーケティンググループマネージャー)という。

本誌では今回、「子連れで満足度の高いホテル」のランキングを作成した。



シエラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルの「グランカフェ」。キッズビュッフェが人気だ

トップ20のホテルを見ると、圧倒的に人気なのは東京ディズニーリゾート(TDR)周辺のホテルだった。1〜5位を占めており、トップ20で実に8ホテルがランクインしている。

1位となったのはシエラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルだ。

数あるTDR周辺ホテルの中でも人気の理由は、コストパフォーマンスのよさにある。楽天トラベ

ディズニー系が圧倒的

1-12 子連れで満足度の高いホテル

順位	ホテル名	所在地
1	シエラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル	千葉
2	東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ	千葉
3	東京ディズニーランドホテル	千葉
4	ディズニーアンバサダーホテル	千葉
5	ヒルトン東京ベイ	千葉
6	ルネサンスリゾート	沖縄
7	ホテルオークラ東京ベイ	千葉
8	別府温泉 杉乃井ホテル	大分
9	ANAインターコンチネンタルホテル東京	東京
10	ザ・ブセナテラス	沖縄
11	東京ベイ舞浜ホテル	千葉
11	オリエンタルホテル東京ベイ	千葉
11	ホテル日航アリビラ	沖縄
14	ホテル日航東京	東京
15	カヌチャベイホテル&ヴィラス	沖縄
15	帝国ホテル	東京
17	軽井沢プリンスホテル	長野
17	ルスツタワー	北海道
19	アルファリゾートトマム	北海道
20	エビナール那須	栃木

ルのホテル予約サイトを見ると、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、ディズニーアンバサダーホテルなどの宿泊料金と比べて半値以下である。

2009年3月にリニューアルした「グランカフェ」のビュッフェレストランでは子供が自ら食事を取れるキッズビュッフェが人気。また、ホテル別館には子供向けの遊技施設もある。

TDR周辺と並ぶ人気エリアが沖縄だ。

15位のカヌチャベイホテル&ヴィラスは幼児向けのサービスやサポートが充実している。夕食には子供向けメニューだけでなく、生後5カ月、10カ月向けの離乳食メ

ニューも用意。幼児向けのアメニティも豊富にそろえる。

また、生後6カ月〜6歳を預けられる託児所がある。同ホテル敷地内にあるゴルフ場では3ホールや6ホールだけをラウンドする「ちよこつとゴルフプラン」もあり、子供を預けて夫婦でゴルフを楽しむこともできる。

ランキング20位のエビナール那須も今年6月に託児所を

開設。30分500円から預けられるため、「食事を先に終えたお子さまには託児所で遊んでもらい、大人はゆっくり食事をするといい」といった使い方をされるお客さまも多い(同ホテルを運営するナクアホテル&リゾートスマネジメントの金子俊・運営部シニアマネージャー)と



いう。託児所には保育士が常駐しているだけでなく、ウェブカメラも設置されており、いつでも子供の様子を携帯電話やスマートフォンでチェックできる。

夏季の宿泊客の8割が小学生以下の子連れという人気ホテルだが、その最大の理由は、体験プログラムの豊富さにある。乗馬体験、カブトムシ取り、熱気球体験、パティシエ教室、陶芸教室、ホテルマント体験、ナイトサファリアツアー、トレジャーハンティング等々、8月の体験プログラム数は30種類に

エビナール那須は今年6月に託児所を開設。携帯電話やスマホで子供の様子をチェックできる

上っている。

子連れ客に人気の コンセプトルーム

最近の子連れ旅行の傾向として目立つのは、各種のキャラクターなどを使ったコンセプトルームの人気ぶりだ。

火付け役となったのは昨年10月、鳥取県米子市の皆生温泉にある、かいけ彩朝楽が始めた「ゲゲゲの鬼太郎ルーム」。「お化けの学校編」「目玉おやじ主催！妖怪大宴会編」など、異なるコンセプトの4室がある。

「現在、予約を受け付けているのは10月までだが、すでに土日祝日は予約で埋まっており、平日も残りわずか」（かいけ彩朝楽）という。パーム&ファウンテンテラスホテル（千葉県浦安市）も今年3月、タカラトミーとライセンス契約を締結し、1年間限定で日本初のトミカルームを10室開設。

トミカにちなんだ壁やベッドカバーだけでなく、客室内にプレーエリアも用意した。

コンセプトルームの極め付きは、ホテルグランパシフィック LE DAIBA（東京都港区）のガンダムルームだ

ろう。

東京・台場に今年4月開業したエンターテインメント施設「ガンダムフロント東京」とのコラボレーション企画とし、ガンダムコンセプトルームを今年6月末から1年間の期間限定でオープンした。

客室は通常の倍となる84平方メートルの広さで、主人公アムロ・レイの属する地球連邦軍と、ライバルであるシャア・アズナブルの属するジオン公国軍の二つの世界観を味わえる。壁には等身大のガンダムのイラストが描かれ、コクピットを模した椅子などが置かれている。壁紙からじゅうたんまですべて張り替え、家具も新調した。

宿泊客の大半は30〜40代のカップルや子連れ家族。宿泊料金（1



©創通・サンライズ/K.S.

室）は最低5万2

000円と安くはないが、6月末の開始早々、宿泊予約が殺到し、すでに来年1月末まで予約は取れない。

「3月末まで8〜9割が予約済み」（飯田晴雄・営業企画部課長）という。

「今や1歳未満の乳児がいる家庭でも2組に1組が旅行に出かけている。子連れを歓迎するホテルのニーズは年々高まっている」（藤田洋・ミキハウス子育て総研社長）

この状況に対応して、さらに、親と子が一緒に楽しむという価値を付加したホテルの人气が急上昇している。

トミカルーム（上）とガンダムルーム（下）。昨年以降、こうしたコンセプトルームを設けるホテルが増えている